

コーポレートセミナー

📺 日本語セッション / 📺 英語セッション

10月13日(金) 12時25分～13時10分

📺LS1-1 Past Present and Future of Lymphoma Staging and Response Assessment

【第1会場 東京国際フォーラム ホール棟 4F ホールC】

座長：豊嶋 崇徳（北海道大学大学院 医学研究院 血液内科）

演者：Bruce David Cheson（Lymphoma Research Foundation and Center for Cancer and Blood Disorders）

共催：シンバイオ製薬株式会社

📺LS1-2 Up to Date on CML Treatment ～ATP-competitive TKI and STAMP Inhibitor～

【第2会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7 ①】

座長：松村 到（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

演者：高久 智生（順天堂大学医学部 内科学血液学講座）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

📺LS1-3 Optimal role of CAR T-cells in Diffuse Large B-cell Lymphoma

【第3会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7 ②】

座長：保仙 直毅（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：Jeremy S. Abramson（Massachusetts General Hospital, Jon and Jo Ann Hagler Center for Lymphoma, Harvard Medical School）

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

📺LS1-4 濾胞性リンパ腫とエピジェネティクス ～臨床現場における重要な知識とアプローチ～

【第4会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ①】

座長：島田 和之（名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：遠西 大輔（岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター）

共催：エーザイ株式会社

📺LS1-5 アミロイドーシス診療センターにおけるALアミロイドーシス診療の実際

【第5会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ②】

座長：花村 一朗（愛知医科大学 内科学講座 血液内科）

演者：河野 和（熊本大学病院 血液内科）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■LS1-6 一発売から3年一

基礎と臨床から考えるサークリサ4レジメンの位置づけ

【第6会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールD7】

座長：島崎 千尋（JCHO 京都鞍馬口医療センター）

演者：田村 秀人（獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）

演者：伊藤 薫樹（岩手医科大学 内科学講座 血液腫瘍内科分野）

共催：サノフィ株式会社

■LS1-7 CD4陽性リンパ系腫瘍に対するHDAC阻害剤の有効性を作用機序から考察する

【第7会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールD5】

座長：石塚 賢治（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血液・膠原病内科学分野）

演者：古川 雄祐（帝京科学大学 医学教育センター/自治医科大学 分子病態治療研究センター）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

■LS1-8 小児血友病診療

～成人移行を可能な限りスムーズにするために考えること

【第8会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホールD1】

座長：金田 眞（札幌徳洲会病院 小児科/血友病センター）

演者：岩崎 史記（神奈川県立こども医療センター 血液・腫瘍科）

共催：CSL ベーリング株式会社

■LS1-9 PTCL治療での単剤療法の可能性を考える

～Pralatrexateの実臨床での経験を踏まえて～

【第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402】

座長：楠本 茂（愛知県がんセンター 血液・細胞療法部）

演者：仲里 朝周（横浜市立市民病院 血液内科）

共催：ムンディファーマ株式会社

■LS1-10 Redefining treatment goals in PNH

【第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409】

座長：金倉 譲（住友病院）

演者：Jeffery Szer（Department of Clinical Haematology, Peter MacCallum Cancer Centre & The Royal Melbourne Hospital and Department of Medicine, University of Melbourne）

共催：Swedish Orphan Biovitrum Japan 株式会社／旭化成ファーマ株式会社

■LS1-11 再生不良性貧血のUp to Date

【第11会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502】

座長：千葉 滋（筑波大学医学医療系 血液内科）

演者：森田 泰慶（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

共催：協和キリン株式会社

■LS1-12 多発性骨髄腫の観点からみた SDGs

【第12会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510】

座長：南 陽介（国立がん研究センター 東病院）
演者：木口 亨（獨協医科大学 埼玉医療センター）
共催：富士製薬工業株式会社

■LS1-13 AMLにおけるコンパニオン診断(CDx)、どの症例にどのタイミングで？

【第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602】

座長：石川 裕一（名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）
演者：細野 奈穂子（福井大学医学部附属病院 輸血部）
共催：Invivoscribe / LabPMM

■LS1-14 骨髄性/リンパ性腫瘍の多彩な病態と診断・治療

【第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610】

座長：伊藤 雅文（名古屋第一赤十字病院 病理部）
WHO 分類第5版の改訂ポイントと鑑別診断の重要性
演者：伊藤 雅文（名古屋第一赤十字病院 病理部）
FGFR1 陽性の骨髄性/リンパ性腫瘍に対する最新治療戦略
演者：河野 徳明（宮崎県立宮崎病院 血液内科）
共催：インサイト・ジャパン合同会社

■LS1-15 ECP Treatment for Second Line cGvHD

【第15会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701】

座長：新井 康之（京都大学医学部附属病院 検査部・細胞療法センター・血液内科）
演者：Robert Zeiser（Tumor Immunology and Immune Modulation, Medical Center of the University of Freiburg, Germany）
共催：マリンクロット ファーマ株式会社

10月14日（土） 12時00分～12時45分

■LS2-1 多発性骨髄腫治療と抗 CD38 モノクローナル抗体 —理論・エビデンス・実際—

【第1会場 東京国際フォーラム ホール棟 4F ホールC】

座長：尾崎 修治（徳島県立中央病院 血液内科）
演者：黒田 純也（京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科学）
共催：ヤンセンファーマ株式会社

■LS2-2 患者さんの Well being を考慮した多発性骨髄腫治療戦略

【第2会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7 ①】

座長：佐々木 純（順天堂大学医学部内科学血液学講座）

安倍 正博（社会医療法人川島会 川島病院 血液内科／徳島大学 名誉教授）

患者さんの視点から考える多発性骨髄腫治療

演者：安倍 正博（社会医療法人川島会 川島病院 血液内科／徳島大学 名誉教授）

患者さんの臨床課題に合わせた MM 治療戦略

-最新ガイドラインをふまえた維持療法の意義と Ixazomib の使いどころ-

演者：佐々木 純（順天堂大学医学部内科学血液学講座）

共催：武田薬品工業株式会社

■LS2-3 CAR-T 時代における難治性骨髄腫の治療戦略：現状と今後の展望

【第3会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7 ②】

座長：今井 陽一（獨協医科大学 内科学（血液・腫瘍））

演者：吉原 哲（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学）

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

■LS2-4 骨髄増殖性腫瘍における最新の治療戦略

【第4会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ①】

座長：下田 和哉（宮崎大学 医学部内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野）

Light up the new world of PV treatment

演者：伊藤 量基（関西医科大学 内科学第一講座）

骨髄線維症マネジメントのアップデート

演者：竹中 克斗（愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■LS2-5 Current SoC in DLBCL treatment - CAR T vs Chemo/ASCT -

【第5会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ②】

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

演者：Frederick Locke（Moffitt Cancer Center, Tampa, FL, USA）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■LS2-6 DLBCL における CQ を考察する

【第6会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールD7】

座長：石澤 賢一（東北福祉大学健康科学部保健看護学科 せんだんホスピタル）

演者：高橋 寛行（神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科）

演者：山内 寛彦（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

共催：中外製薬株式会社

LS2-7 血液内科医の鑑別診断に対するアプローチ
- 脾腫を伴う先天代謝異常症

【第7会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールD5】

座長：山本 和彦（岡山市立市民病院 血液内科）

演者：吉満 誠（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血液・膠原病内科学分野）

共催：サノフィ株式会社

LS2-8 PNHの診断と治療について ～参照ガイド改訂ポイントを踏まえて～

【第8会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホールD1】

座長：西村 純一（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：上野 志貴子（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

LS2-9 再生不良性貧血治療の最前線

【第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402】

座長：中尾 眞二（石川県赤十字血液センター）

新規治療薬ウマ ATG の位置づけ

演者：神田 善伸（自治医科大学医学部内科学講座 血液学部門）

再生不良性貧血診療の参照ガイド改訂のポイント

演者：山崎 宏人（金沢大学附属病院 輸血部）

共催：ファイザー株式会社

LS2-10 AML 治療における VEN+AZA 療法の位置付け

【第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409】

座長：赤司 浩一（九州大学医学部 病態修復内科）

演者：吉本 五一（地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 血液内科）

共催：アッヴィ合同会社

LS2-11 再発・難治悪性リンパ腫の治療モダリティの多様化
～B細胞性リンパ腫・地固め療法を中心に～

【第11会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502】

座長：池田 宇次（静岡県立静岡がんセンター 血液・幹細胞移植科）

演者：福島 健太郎（大阪大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

共催：住友ファーマ株式会社

LS2-12 APL に合併する DIC の病態と治療戦略

【第12会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510】

座長：藤田 浩之（済生会横浜市南部病院 血液内科）

演者：池添 隆之（福島県立医科大学 血液内科学講座）

共催：旭化成ファーマ株式会社

■LS2-13 Management of primary CNS lymphoma-current status and future directions

【第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602】

座長：近藤 英生（川崎医科大学 血液内科学）

演者：Lakshmi Nayak（The Center for CNS Lymphoma within the Center for Neuro-Oncology, Dana-Farber Cancer Institute, Neurology at Harvard Medical School）

共催：小野薬品工業株式会社

■LS2-14 移植の適応とならない再発・難治 ALL に対する治療戦略

【第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610】

座長：宮崎 泰司（長崎大学原爆後障害医療研究所）

演者：太田 秀一（札幌北楡病院）

共催：アムジェン株式会社／アステラス製薬株式会社

■LS2-15 血液悪性腫瘍治療における真菌感染症管理

【第15会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701】

座長：土岐 典子（がん・感染症センター 都立駒込病院 血液内科）

演者：近藤 忠一（神戸市立医療センター中央市民病院 血液内科／京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学）

共催：MSD 株式会社

10月15日（日） 12時05分～12時50分

■LS3-1 再発難治性 DLBCL に対する二重特異性抗体

【第1会場 東京国際フォーラム ホール棟 4F ホールC】

座長：永井 宏和（国立病院機構名古屋医療センター）

演者：蒔田 真一（国立がん研究センター中央病院）

共催：ジェンマブ株式会社／アッヴィ合同会社

■LS3-2 サークリサレジメンを 2ndLine でこう使う

【第2会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7 ①】

座長：鈴木 憲史（日本赤十字社医療センター）

演者：三原 圭一郎（藤田医科大学 国際再生医療センター 先進がん免疫療法学）

演者：鈴木 一史（東京慈恵会医科大学）

共催：サノフィ株式会社

■LS3-3 Cutting edge treatment strategy for PV

オンデマンド配信

【第3会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7 ②】

座長：桐戸 敬太（山梨大学医学部 血液・腫瘍内科）

演者：Jean-Jacques Kiladjian（Clinical Pharmacology, Paris Cité University Clinical Investigation Centre, Saint Louis Hospital, Paris, France.）

共催：ファーマエッセンシアジャパン株式会社

■LS3-4 Role of quizartinib in first-line treatment for FLT3-ITD mutated AML

【第4会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ①】

座長：山内 高弘（福井大学医学部 病態制御医学講座 内科学(1)）

演者：Pau MONTESINOS FERNÁNDEZ（Hospital Universitari i Politènic La Fe, Valencia, Spain）

共催：第一三共株式会社

■LS3-5 AML 治療薬の進展を踏まえた FLT3 遺伝子変異陽性 AML の治療戦略

【第5会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ②】

座長：高田 覚（群馬県済生会前橋病院 血液内科）

演者：清井 仁（名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

共催：アステラス製薬株式会社

■LS3-6 SOS/VOD に対する HokUS を用いた治療戦略

【第6会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールD7】

座長：松岡 賢市（岡山大学学術研究院医歯薬学域 血液・腫瘍・呼吸器内科学）

演者：杉田 純一（札幌北楡病院 血液内科）

共催：日本新薬株式会社

■LS3-7 Ph 陽性白血病：新世代治療法への道

【第7会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールD5】

座長：吉田 近思（独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 血液内科）

演者：佐々木 宏治（Department of Leukemia The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston TX, U.S.A.）

共催：大塚製薬株式会社

■LS3-8 CLL における MoA と治療戦略

【第8会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホールD1】

座長：鈴宮 淳司（社会医療法人 駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院）

演者：丸山 大（公益財団法人がん研究会 有明病院 血液腫瘍科）

共催：日本イーライリリー株式会社

■LS3-9 特発性血小板減少性紫斑病の新規標的 ～胎児性 Fc 受容体 (FcRn) を紐解く～

【第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402】

座長：村田 満（国際医療福祉大学 臨床医学研究センター）

演者：宮川 義隆（埼玉医科大学病院 血液内科）

共催：アルジェニクスジャパン株式会社 メディカルアフェアーズ

■LS3-10 PTCL の治療戦略～新規薬剤治療を含めて～

【第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409】

座長：塚崎 邦弘（埼玉医科大学国際医療センター 造血管腫瘍科）

演者：山本 豪（虎の門病院 血液内科）

共催：日本化薬株式会社

■LS3-11 後天性血友病 A 診断から治療への包括的なガイド

【第 11 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502】

座長：園木 孝志（和歌山県立医科大学医学部血液内科学講座）

演者：備後 真登（東京医科大学 臨床検査医学分野）

共催：武田薬品工業株式会社

■LS3-12 鉄欠乏性貧血治療の実態と課題 ～経口鉄剤の New Normal～

【第 12 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510】

座長：小松 則夫（順天堂大学医学部内科学血液学講座）

演者：藤原 亨（岩手医科大学医学部 臨床検査医学講座）

共催：鳥居薬品株式会社 メディカルアフェアーズ部

■LS3-13 ITP 新規治療薬ホスタマチニブ（Syk 阻害薬）の作用機序と特徴

【第 13 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602】

座長：富山 佳昭（医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院）

演者：桑名 正隆（日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー・膠原病内科学分野）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

■LS3-14 Latest updates in treatment of CLL

【第 14 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610】

座長：澤 正史（安城更生病院 血液・腫瘍内科）

演者：Paolo Ghia（Università Vita-Salute San Raffaele and IRCCS Ospedale San Raffaele, Milan, Italy）

共催：アストラゼネカ株式会社

■LS3-15 血液疾患患者における耐性グラム陰性菌感染症の最新の話題

【第 15 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701】

座長：岩崎 博道（福井大学医学部附属病院 感染制御部・感染症膠原病内科）

演者：荒岡 秀樹（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 臨床感染症科）

共催：塩野義製薬株式会社

10月13日（金） 17時00分～17時45分

■ES1-3 臍帯血移植における課題と対策 一真菌感染管理も含めて一

【第 3 会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホール B7 ②】

座長：森 毅彦（東京医科歯科大学 血液内科学）

演者：高橋 聡（東京大学医科学研究所 臨床精密研究基盤社会連携研究部門）

共催：旭化成ファーマ株式会社

■ES1-4 CML の治療：併存症から考える TKI 選択

【第 4 会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホール B5 ①】

座長：高橋 直人（秋田大学 血液・腎臓・膠原病内科学講座）

演者：近藤 健（愛育病院 血液内科）

共催：ファイザー株式会社

■ES1-5 多発性骨髄腫における免疫療法と免疫微小環境

【第5会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5②】

座長：張替 秀郎（東北大学大学院医学系研究科 血液内科学）
演者：中村 恭平（オーストラリア・クイーンズランド医学研究所）
共催：ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

■ES1-6 最適な移植後免疫反応を考える

【第6会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールD7】

座長：谷口 修一（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院）
演者：前田 嘉信（岡山大学大学院 血液・腫瘍・呼吸器内科学）
共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■ES1-7 Myelofibrosis – Emerging Treatment and Biological Concepts

【第7会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールD5】

座長：一井 倫子（大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科）
演者：Raajit K. Rampal（Division of Hematologic Malignancies, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, USA）
共催：住友ファーマ株式会社

■ES1-8 末梢性T細胞リンパ腫（PTCL）の最新治療

【第8会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホールD1】

座長：山本 一仁（愛知県がんセンター）
演者：鈴木 律朗（島根大学医学部 血液・腫瘍内科学）
共催：武田薬品工業株式会社

■ES1-9 初発FLに対するオビヌツズマブ治療の意義 ～GALLIUM 試験最終解析を踏まえて～

【第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402】

座長：照井 康仁（埼玉医科大学病院 血液内科）
演者：柴山 浩彦（大阪医療センター 血液内科）
共催：中外製薬株式会社／日本新薬株式会社

■ES1-10 COVID-19 パンデミックから何を学び、どのように次に備えるか ～効果的な治療薬の使い方を含めて～

【第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409】

座長：高折 晃史（京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学）
演者：館田 一博（東邦大学医学部 微生物・感染症学講座）
共催：アストラゼネカ株式会社

■ES1-11 新薬時代におけるCLLの治療戦略

【第11会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502】

座長：黒川 峰夫（東京大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）
演者：上村 智彦（原三信病院 血液内科）
共催：アッヴィ合同会社

■ES1-12 同種造血幹細胞移植における CMV
～君たちはどう選ぶのか～

【第 12 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510】

座長：片岡 圭亮（慶應義塾大学医学部 血液内科／国立がん研究センター研究所
分子腫瘍学分野）

演者：片山 雄太（日本赤十字社 広島赤十字・原爆病院 血液内科）

共催：MSD 株式会社

■ES1-13 CAD 治療における抗補体薬の実際

【第 13 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602】

座長：和田 秀穂（川崎医科大学 血液内科学）

演者：植田 康敬（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

共催：サノフィ株式会社

■ES1-14 血液がん治療の進化と低ガンマグロブリン血症に伴う感染症コン
ロール

オンデマンド配信

【第 14 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610】

座長：大間知 謙（東海大学医学部 血液腫瘍科）

演者：花本 仁（近畿大学奈良病院 血液内科）

共催：CSL ベーリング株式会社

■ES1-15

【第 15 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701】

座長：関口 直宏（国立病院機構 災害医療センター 血液内科 治験管理室）

Genetic abnormalities and therapeutic strategies in WM/LPL

演者：Steven P Treon（Bing Center for Waldenström's Macroglobulinemia,
Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School）

**The importance of shared decision making (SDM) and the role and practice of
SDM in the treatment of WM/LPL**

演者：Christopher J Patterson（Bing Center for Waldenström's
Macroglobulinemia, Harvard Medical School）

共催：小野薬品工業株式会社

10月14日（土） 17時00分～17時45分

■ES2-3 Expert Guidance on Therapeutic Strategies for Relapsed/Refractory
Myeloma

【第 3 会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホール B7 ②】

座長：飯田 真介（名古屋市立大学医薬学総合研究院（医学）血液・腫瘍内科学分
野）

How I Treat Lenalidomide-exposed RRMM and Triple-class exposed RRMM

演者：Larry D. Anderson（UT Southwestern Medical Center）

共催：ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

ES2-4 鉄欠乏性貧血の新たな治療選択

～高用量静注鉄剤デライソマルトース第二鉄について～

【第4会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5①】

座長：鈴木 隆浩（北里大学医学部 血液内科学）

演者：川端 浩（独立行政法人国立病院機構京都医療センター 血液内科）

共催：日本新薬株式会社

ES2-5 ステロイド抵抗性/依存性慢性 GVHD における Ibrutinib の役割

【第5会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5②】

座長：加藤 光次（九州大学大学院 医学研究院 病態修復内科学）

慢性 GVHD の病態と治療

演者：稲本 賢弘（藤田医科大学 造血細胞移植・細胞療法学）

cGVHD に対するイブルチニブの使用法・実戦編

演者：豊崎 誠子（東海大学医学部内科学系 血液・腫瘍内科）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

ES2-6 Lessons learned from CD19 CAR therapy

【第6会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールD7】

座長：玉田 耕治（山口大学 大学院医学系研究科 免疫学講座）

演者：Michel Sadelain（Memorial Sloan Kettering Cancer Center）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

ES2-7 血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）

【第7会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールD5】

座長：松本 雅則（奈良県立医科大学 輸血部・血液内科）

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）診療ガイド 2023 改定のポイント

演者：松本 雅則（奈良県立医科大学 輸血部・血液内科）

当院における後天性血栓性血小板減少性紫斑病（iTTP）の治療経験とカプラシマブの使用経験

演者：蒸野 寿紀（和歌山県立医科大学 血液内科）

共催：サノフィ株式会社

ES2-8 血液疾患診療における二次性免疫不全症のマネージメント

【第8会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホールD1】

座長：中前 博久（大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学）

演者：東梅 友美（山形大学医学部附属病院 血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社

ES2-9 後天性血友病 A 治療の新展開

【第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402】

座長：山之内 純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

演者：日笠 聡（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科）

共催：中外製薬株式会社

ES2-10 The Importance of Biomarker-Guided Therapy in CLL -Latest updates and insights from ERIC led initiatives-

【第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409】

座長：菊繁 吉謙（九州大学病院 遺伝子・細胞療法部）

演者：Paolo Ghia（Università Vita-Salute San Raffaele and IRCCS Ospedale San Raffaele, Milan, Italy）

共催：アストラゼネカ株式会社

ES2-11 DLBCLの現状と今後の展望

～ジールスタボディーボッドによるFNマネジメントへの期待～

【第11会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502】

座長：中世古 知昭（国際医療福祉大学医学部血液内科学）

演者：湯田 淳一郎（国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科/先端医療科/医薬品開発推進部門 血液腫瘍治療開発推進室）

共催：協和キリン株式会社

ES2-12

オンデマンド配信

【第12会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510】

座長：後藤 明彦（東京医科大学 血液内科学分野）

ITPの最新の治療戦略とTPO受容体作動薬

演者：柏木 浩和（大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科）

再生不良性貧血最新の治療戦略とエルトロンボパグの位置付け

演者：小原 直（筑波大学 医学医療系 臨床医学域 医療科学（血液学））

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

ES2-13 糸状真菌治療の現状と課題

【第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602】

座長：宮本 敏浩（金沢大学医薬保健研究域医学系 血液内科学）

演者：高木 伸介（虎の門病院 血液内科）

共催：住友ファーマ株式会社

ES2-14 悪性リンパ腫診療における免疫チェックポイント阻害剤の新たな役割

【第14会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G610】

座長：山口 素子（三重大学大学院医学系研究科 先進血液腫瘍学）

演者：棟方 理（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

共催：MSD株式会社

ES2-15 Cutting-edge treatment approach for lenalidomide refractory myeloma patients

【第15会場 東京国際フォーラム ガラス棟 7F G701】

座長：石田 禎夫（日本赤十字社医療センター 血液内科/骨髄腫アミロイドーシスセンター）

演者：Hang Quach（Clinical Haematology Service / Clinical Haematology Research, St Vincent's Hospital Melbourne, University of Melbourne）

共催：小野薬品工業株式会社

10月14日(土) 8時00分～8時45分

**MS2-3 移植非適応初発多発性骨髄腫における Daratumumab の役割
-実臨床と Evidence から考える-**

【第3会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7 ②】

座長：高松 泰（福岡大学医学部 腫瘍・血液・感染症内科）

■A clinical perspective on the treatment of multiple myeloma from initial therapy to relapsed and refractory disease ~ towards optimizing outcome and translating current advances to real world practice.

演者：Paul Richardson（Dana Farber Cancer Institute/Harvard Medical School）

■多様性に富む高齢骨髄腫患者に対する Daratumumab に秘められた可能性

演者：堀米 佑一（北里大学大学院医療系研究科 血液内科学）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■MS2-4 再発・難治性 DLBCL/FL における CAR-T 細胞療法

オンデマンド配信

【第4会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ①】

座長：後藤 秀樹（北海道大学病院 検査・輸血部）

演者：福原 規子（東北大学病院 血液内科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■MS2-5 Precision medicine in myeloma – a new frontier

【第5会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5 ②】

座長：半田 寛（群馬大学医学部附属病院 血液内科）

演者：Shaji Kumar（Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Mayo Clinic）

共催：アッヴィ合同会社

■MS2-6 造血器腫瘍ゲノム医療の実践に向けて

【第6会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールD7】

座長：前田 高宏（九州大学大学院医学研究院プレジジョン医療学）

演者：南谷 泰仁（東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科）

共催：アステラス製薬株式会社 メディカルアフェアーズ本部

■MS2-7 自家末梢血幹細胞採取・移植における多職種連携の実践

【第7会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールD5】

座長：角南 一貴（独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター）

演者：塚田 信弘（日本赤十字社医療センター 血液内科）

共催：サノフィ株式会社

MS2-8

【第8会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホールD1】

座長：松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）

フォン・ヴィレブランド病診療の基本

演者：天野 景裕（東京医科大学 臨床検査医学分野）

後天性フォン・ヴィレブランド症候群の病態と治療

演者：八木 秀男（奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター）

共催：武田薬品工業株式会社

MS2-9 再発/難治性 濾胞性リンパ腫におけるタゼメトスタット

【第9会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402】

座長：魚嶋 伸彦（京都第二赤十字病院 血液内科）

演者：牟田 毅（広島赤十字・原爆病院 輸血部（兼）検査部）

共催：エーザイ株式会社

MS2-10 AML 治療の変遷と今後の展望

【第10会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409】

座長：山口 博樹（日本医科大学大学院医学研究科 血液内科学）

演者：横田 朗（千葉市立青葉病院 血液内科）

共催：日本新薬株式会社

MS2-11

【第11会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502】

座長：宇都宮 與（今村総合病院 血液内科）

再発・難治性 PTCL の治療戦略

演者：城内 優子（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

再発・難治性 ATL の治療 - 皮膚腫瘍医の観点から -

演者：米倉 健太郎（今村総合病院 皮膚科）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

MS2-12 真性多血症に対する新たな治療戦略

オンデマンド配信

【第12会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510】

座長：杉本 由香（三重大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

ロペグインターフェロン α -2b の臨床使用経験から

演者：赤羽 大悟（東京医科大学 血液内科学分野）

ロペグインターフェロン α -2b の基礎的検討から

演者：酒徳一希（大阪公立大学 大学院医学研究科 血液腫瘍制御学）

共催：ファーマエッセンシアジャパン株式会社 メディカルサイエンス部

MS2-13 造血幹細胞移植患者における呼吸器感染症（肺炎球菌、インフルエンザ、COVID-19）とその予防

【第13会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6F G602】

座長：森 有紀（虎の門病院）

演者：沖中 敬二（国立がん研究センター東病院）

共催：MSD 株式会社メディカルアフケアーズ部門

10月15日(日) 8時00分~8時45分

MS3-3 CLL 治療戦略における BTK-i 治療の意義

【第3会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールB7②】

座長：矢野 真吾（東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科）

イブランチンブと心房細動

演者：庄司 正昭（国立がん研究センター中央病院 総合内科・循環器内科）

CLL 治療の BTK 阻害薬選択に関する考察

演者：青木 定夫（新潟薬科大学 医療技術学部・血液学）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

MS3-4 Ph 陽性白血病における MRD 評価の重要性

オンデマンド配信

【第4会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5①】

座長：木村 晋也（佐賀大学）

TFR を目指した CML 診療と IS%測定~実地医療の観点から~

演者：飯野 昌樹（山梨県立中央病院）

Ph 陽性 ALL における MRD の定量評価

演者：小野澤 真弘（北海道大学）

共催：大塚製薬株式会社

MS3-5 Indolent B-Cell Lymphomas in the 5th Edition of the WHO Classification of Hematolymphoid Tumors – What is New?

【第5会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールB5②】

座長：加留部 謙之輔（名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学）

演者：German Ott（Institut für Klinische Pathologie Robert-Bosch-Krankenhaus Stuttgart, Germany）

共催：中外製薬株式会社

MS3-6 血液診療のこれからを考える -2024年医師の働き方改革を見据えて-

オンデマンド配信

【第6会場 東京国際フォーラム ホール棟 7F ホールD7】

座長：門脇 則光（香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学）

血液疾患診療の地域連携体制構築の取り組み

演者：一戸 辰夫（広島大学病院 血液内科）

血液内科の職場環境改善のとりくみ-千葉大学血液内科 20年の軌跡-

演者：堺田 恵美子（千葉大学医学部附属病院 血液内科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

MS3-7 ホジキンリンパ腫の病態と治療

【第7会場 東京国際フォーラム ホール棟 5F ホールD5】

座長：富田 章裕（藤田医科大学医学部 血液内科学）

演者：錦織 桃子（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 臨床研究開発学）

共催：小野薬品工業株式会社／プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

■MS3-8 血友病 A 治療はどう変わる？～これからの治療目標を考える～

【第 8 会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホール D1】

座長：藤井 輝久（広島大学病院 輸血部 血友病診療センター）

演者：野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科学教室）

共催：サノフィ株式会社

■MS3-9 発作性夜間ヘモグロビン尿症の新たな治療戦略～補体 C3 阻害薬～

【第 9 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G402】

座長：臼杵 憲祐（NTT 東日本関東病院 血液内科）

演者：田村 志宣（和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座）

共催：旭化成ファーマ株式会社

■MS3-10 T 細胞リンパ腫の分子病態と治療戦略

【第 10 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409】

座長：藤 重夫（大阪国際がんセンター血液内科）

AITL の免疫微小環境

演者：坂田 麻実子（筑波大学医学医療系血液内科）

再発難治性 PTCL の治療戦略

演者：城 達郎（日本赤十字社社長崎原爆病院血液内科）

共催：エーザイ株式会社メディカル本部

■MS3-11 再発・難治性 ALL に対する治療戦略

【第 11 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G502】

座長：村田 誠（滋賀医科大学 内科学講座 血液内科）

演者：賀古 真一（自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科）

共催：ファイザー株式会社

■MS3-12 本態性血小板血症患者の管理の今後について考える

【第 12 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 5F G510】

座長：多林 孝之（埼玉医科大学総合医療センター 血液内科）

演者：橋本 由徳（鳥取県立中央病院 血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社

10 月 14 日（土） 11 時 20 分～11 時 50 分

■IS2-8 PNH 診療の Up-to-date

—参照ガイド改訂から紐解く今後の診療の方向性—

オンデマンド配信

【第 8 会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホール D1】

座長：西脇 嘉一（東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科）

演者：細川 晃平（金沢大学附属病院 血液内科）

共催：アレクシオンファーマ合同会社 メディカルアフェアーズ本部

10月15日（日） 11時20分～11時50分

IS3-8 Patient Unmet Needs and Shared Decision in MDS

【第8会場 東京国際フォーラム ホール棟 1F ホールD1】

座長：小川 亮介（独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院）

演者：Esther Natalie Oliva（Department of Hematology, Grande Ospedale
Metropolitano Bianchi Melacrino Morelli, Italy.）

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 メディカル部門

10月14日（土） 12時00分～12時45分

**JOLS2-1 血友病 A 診療 up date
～凝固因子製剤による止血管理～**

【ライブ配信のみ】

座長：長尾 梓（荻窪病院 血液凝固科）

演者：鈴木 伸明（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）

共催：藤本製薬株式会社

10月15日（日） 12時05分～12時50分

JOLS3-1 急性リンパ性白血病治療の最適化：Erwinase の使用を含めて

【ライブ配信のみ】

座長：山崎 悦子（横浜労災病院 血液内科）

演者：康 勝好（埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科）

共催：大原薬品工業株式会社